

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 9 巻第 32 号

第 32 週( 8月 3日 ~ 8月 9日)

発行年月日:平成21年(2009年) 8月13日

発行 :滋賀県衛生科学センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

### 今週の感染症発生動向

**新型インフルエンザの集団発生は8件(8月9日現在、滋賀県)  
腸管出血性大腸菌感染症の発生は今年になって9例目**

定点把握の対象となる五類感染症の患者報告数は、先週よりやや少なくなっています。今週増加した疾患はA群溶レン菌咽頭炎、マイコプラズマ肺炎等で、特にマイコプラズマ肺炎は長浜保健所管内からの報告が多くなっています(他の疾患については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

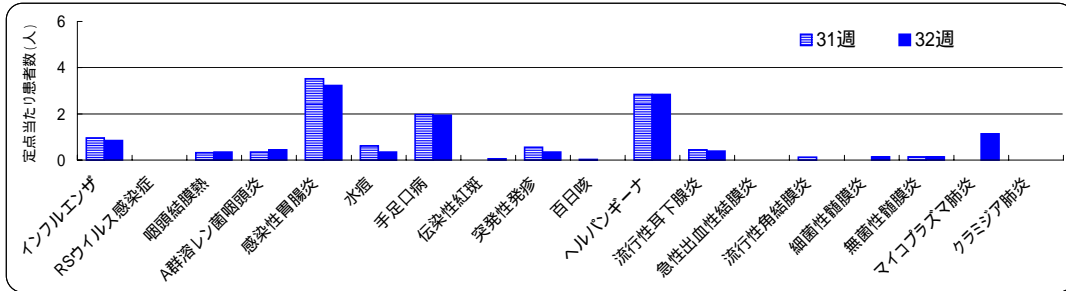
**新型インフルエンザの発生動向調査は、7月24日以降、確定患者の把握から集団発生の早期把握(クラスターサーベイランス)に切り替わりました。**

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」による保健所管内別の警報の発生状況については、先週に引き続き手足口病では甲賀および高島で、ヘルパンギーナでは高島で警報発生基準値を超えています。

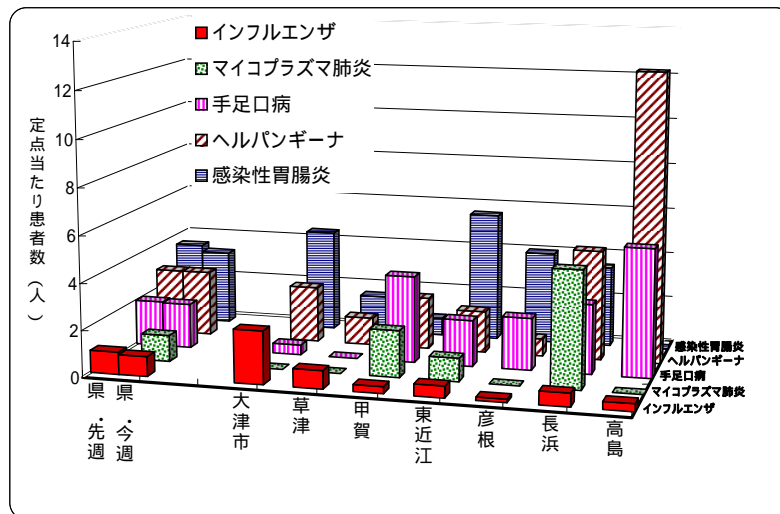
全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で6名、三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症で2名の届出がありました。また、新型インフルエンザ(H1N1)\*で24名の届出がありました。

\*: 集団感染が発生した集団における患者数(疑似症患者を含む)

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)



上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第32週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、ヘルパンギーナ、手足口病、マイコプラズマ肺炎、インフルエンザの順に多くなっています。

ヘルパンギーナは高島で先週より急増し、約1.5倍増となっています。

マイコプラズマ肺炎は長浜で、インフルエンザは大津市で多くなっています。

### 新型インフルエンザ(インフルエンザA/H1N1)発生状況(滋賀県)

クラスターサーベイランスにおける新型インフルエンザの集団感染は、8月9日現在で8件報告されています。保健所管内別では、大津市2件、草津2件、甲賀1件および東近江3件となっています。また、感染症法第12条に基づく届出患者数(疑似症患者を含む)は49名です。

## 1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (32週)	累積報告数		平成20年報告数	
			滋賀 (32週)	全国 (32週)	滋賀	全国 <sup>(*)</sup>
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	6	174	15,909	282	28,419
三類感染症	細菌性赤痢	0	0	100 <sup>(*)2)</sup>	3	320
	腸管出血性大腸菌感染症	2	9	1,767	53	4,322
四類感染症	E型肝炎	0	1	29	0	43
	A型肝炎	0	0	82	3	170
	コクシジオイデス症	0	0	2	1	2
	デング熱	0	0	39	2	104
	マラリア	0	0	38	1	56
	レジオネラ症	0	4	418	10	893
五類感染症	アメーバ赤痢	0	8	495	10	872
	ウイルス性肝炎	0	1	136	5	241
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	2	79	2	152
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	2	78	1	113
	後天性免疫不全症候群	0	5	903	11	1,568
	ジアルジア症	0	0	50	1	76
	梅毒	0	0	441	5	839
	破傷風	0	2	62	5	123
	急性脳炎	0	1	138	1	190
	風しん	0	2	123	2	309
	麻しん	0	2	545	39	11,015
新型インフルエンザ等感染症	新型インフルエンザ(H1N1) <sup>(*)3)</sup>	24	49	3,388	-	-

\*1: 平成20年の全国報告数は、平成20年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

感染症発生動向調査事業年報暫定値(国立感染症研究所感染症情報センター)

\*2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。

\*3: 感染症法の一部改正(7月24日施行)により届出の対象となった報告数です。

### 全国における全数報告感染症の発生状況 - 第32週(8/3～8/9) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: デング熱 2例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 9例
二類感染症: 結核 299例	マラリア 1例	クロイツフェルト・ヤコブ病 4例
三類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 131例	つつが虫病 1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例
パラチフス 1例	日本紅斑熱 2例	ウイルス性肝炎 4例
新型インフルエンザ等感染症: 新型インフルエンザ(H1N1) 1557例	レジオネラ症 15例	風しん 6例
	五類感染症: アメーバ赤痢 12例	麻しん 12例
	梅毒 7例	

## 2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間に単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点\*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。\*疾患により定点数は異なります。

### (1) 疾病別・週別発生状況(平成21年第27～32週、6/29～8/9)

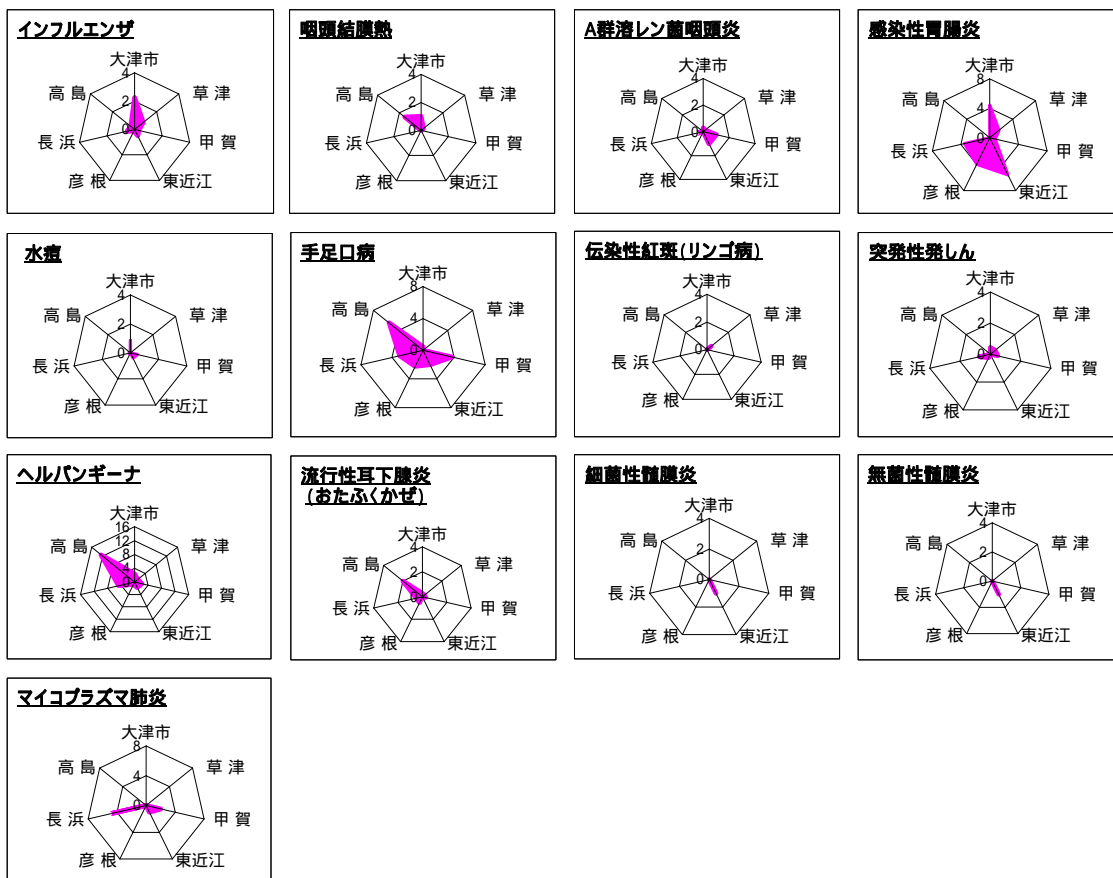
疾患名	定点当たり患者数(前週より増加)					前週と同じ		前週より減少)				
	27週	28週	29週	30週	31週	32週	28	29	30	31	32	
	(6/29～)	(7/6～)	(7/13～)	(7/20～)	(7/27～)	(8/3～)						
インフルエンザ	0.08	0.31	0.60	0.58	0.96	0.85						
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0						
咽頭結膜熱(プール熱)	0.42	0.58	0.39	0.32	0.32	0.35						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.35	1.00	0.81	0.48	0.35	0.45						
感染性胃腸炎	3.48	3.06	3.42	3.26	3.52	3.23						
水痘	1.19	0.77	0.81	0.35	0.61	0.35						
手足口病	0.71	0.84	1.48	2.00	1.97	1.94						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.16	0.13	0.19	0	0	0.06						
突発性発疹	0.58	0.55	0.68	0.48	0.55	0.35						
百日咳	0	0	0	0	0.03	0						
ヘルパンギーナ	0.84	0.97	1.58	1.97	2.84	2.84						
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.45	0.42	0.23	0.19	0.45	0.39						
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0						
流行性角結膜炎	0.13	0.25	0	0.25	0.13	0						
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0.14						
無菌性髄膜炎	0	0	0.14	0	0.14	0.14						
マイコプラズマ肺炎	0.29	0.29	0.29	0	0	1.14						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0.14	0	0						

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第32週、8/3～8/9)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)									疾患別発生状況(県全体)		
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島				
インフルエンザ	0.85	2.27	0.78	0.29	0.50	0.14	0.57	0.33				
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0				
咽頭結膜熱(プール熱)	0.35	1.00	0.20	0	0	0	0	1.50				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.45	0.29	0.20	1.00	1.00	0	0.50	0				
感染性胃腸炎	3.23	4.43	1.60	0.75	5.60	4.00	3.50	0				
水痘	0.35	0.86	0	0.50	0.40	0	0.25	0				
手足口病	1.94	0.43	0	3.75	2.00	2.25	3.00	5.50				
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0	0.40	0	0	0	0	0				
突発性発しん	0.35	0.43	0.40	0.50	0	0.25	0.75	0				
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0				
ヘルパンギーナ	2.84	2.43	1.20	2.25	1.80	0.75	4.75	12.50				
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.39	0.29	0.20	0.25	0	0.50	0.50	2.00				
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				
細菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	1.00	0	0	0				
無菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	1.00	0	0	0				
マイコプラズマ肺炎	1.14	0	0	2.00	1.00	0	5.00	0				
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0				

■ は定点当たり患者数が先週より増加 ■ は警報発生中 ■ は注意報発生中

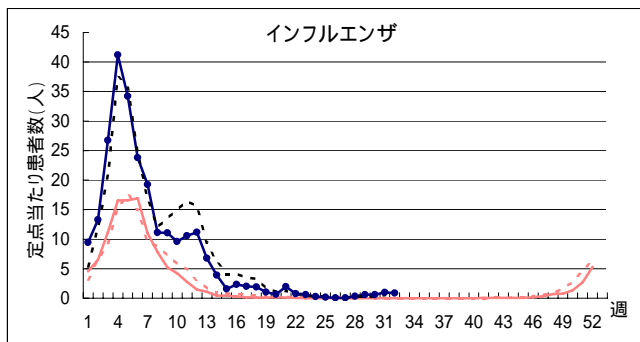
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



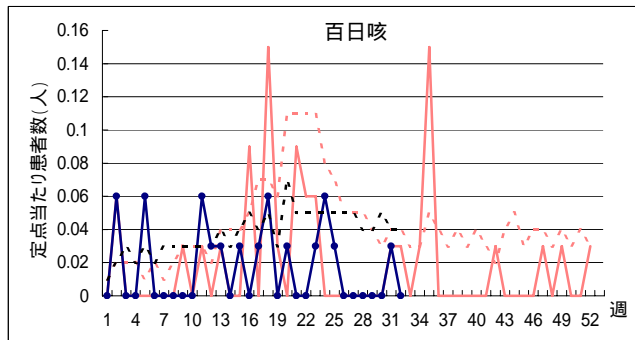
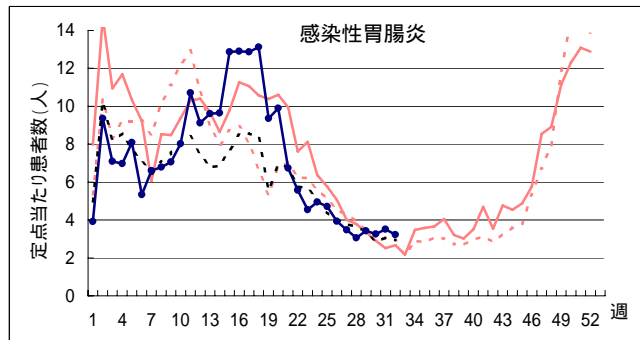
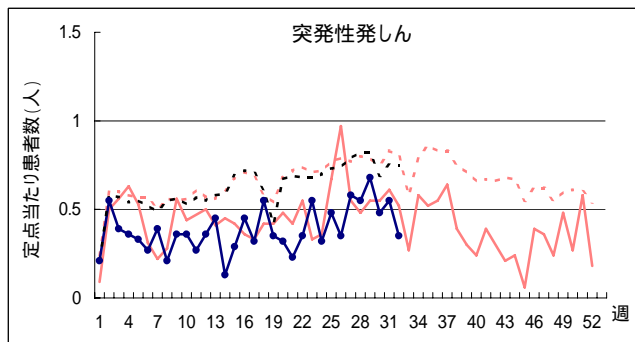
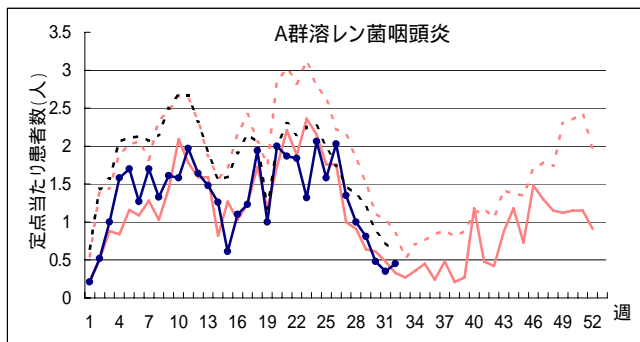
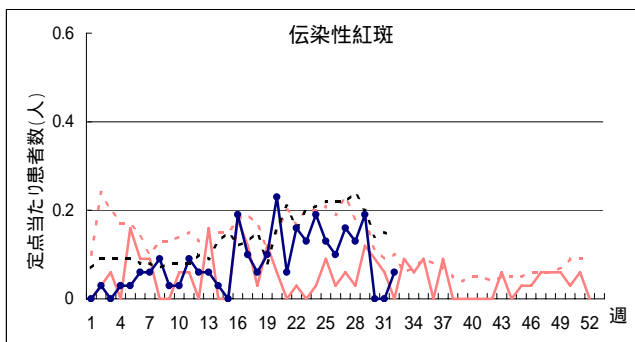
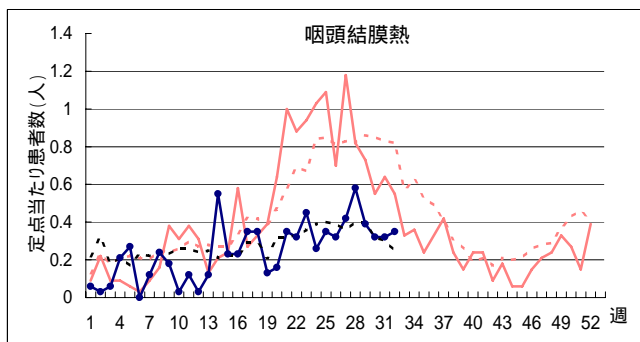
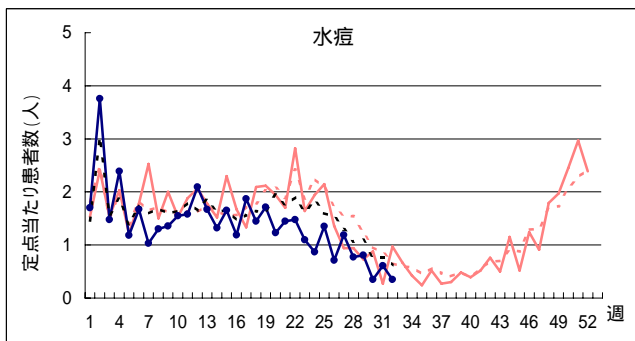
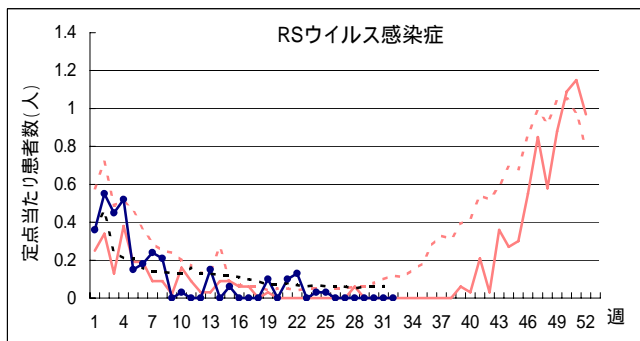
(3)今週の発生状況

- インフルエンザ-----県全体では先週よりやや減少していますが、草津、東近江、彦根および長浜では微増となっています。
- 水痘-----先週、かなり増加した東近江では減少しています。
- 手足口病-----先週増加した甲賀では約半減となりましたが、定点当たり患者数は3.75で先週に引き続き警報終息基準値(2.00)を超えています。また、高島では先週よりさらに増加し警報開始基準値(5.00)を超えています。
- ヘルパンギーナ-----県全体では横ばいですが、高島では先週よりさらに増加し、先週に引き続き警報終息基準値(2.00)を大幅に超えています。
- マイコプラズマ肺炎-----先週より急増し、特に長浜からの報告が多くなっています。

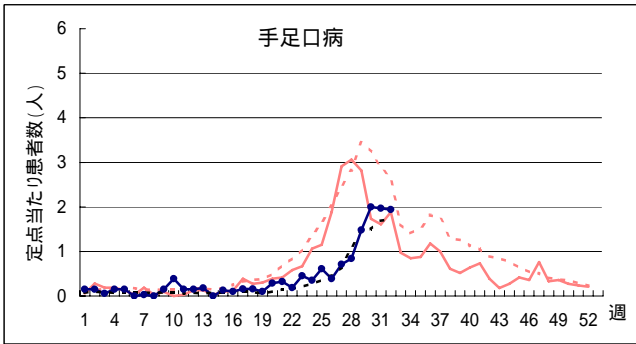
# 疾病別定点当たり患者数(平成21年第32週、H19.12.29~H21.8.9)



H20 { 滋賀 (solid red line)  
 全国 (dotted red line)  
 H21 { 滋賀 (solid blue line with dots)  
 全国 (dotted blue line with dots)



# 疾病別定点当たり患者数(平成21年第32週、H19.12.29~H21.8.9)



H20  
 { 滋賀 ————  
   全国 - - - - -  
 H21  
 { 滋賀 ————  
   全国 - - - - -

